

令和 8 年 7 月臨時会 提案説明要旨

(はじめに)

令和 8 年 7 月関西広域連合議会臨時会の開会に当たり、議員の皆様に敬意と感謝を申し上げます。

過日退任されました渡辺前議長の 1 年間のご尽力に対し、心からお礼を申し上げます。また、新たに就任されました鈴木議長には、第17代議長へのご就任を心からお喜び申し上げます。

7 月 5 日に行われた滋賀県知事選挙において、私、三日月大造は 4 回目の当選を果たすことができました。県民の負託に応え、引き続き知事として、また、広域連合長としての職責を全身全霊で全うしていく所存でございます。議員各位のご指導、ご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

6 月には、全国各地で地震や台風が相次ぎました。関西においても、台風 6 号および 7 号の接近に伴う大雨の影響で、各地で土砂災害などが発生し、公共交通にも大きな影響が出ました。被害に遭われた方々に心よりお見舞いを申し上げます。

関西広域連合では、6 月 2 日から 3 日にかけての台風 6 号の接近を受けて、災害警戒本部と対策準備室を、25日に発生した岩手県沖を震源とする地震、および翌26日に発生した山梨県東部・富士五湖を震源とする地震を受けて、対策準備室を速やかに設置し、情報収集を行いました。引き続き、構成団体と連携し、「関西防災・減災プラン」に基づく災害対応に万全を期してまいります。

また、2 月末からの中東情勢の緊迫化により、石油由来製品の供給不安定化などが、国民生活および経済活動に深刻な影響を及ぼしかねないことから、去る 6 月 4 日に、国に対し、「原油・エネルギーの確保、安定供給、価格安定対策及び資金繰り支援の強化」など 5 項目の緊急要望を実施したところです。引き続き情勢を注視し、対応してまいります。

さて、今年度から 5 年間の関西広域連合の取組方針を定めた、第 6 期広域計画がスタートしました。自治力、防災力、文化力、環境力、産業力の 5 つの力を高め、計画に掲げた関西の将来像の実現を目指し、各分野の取組を進めてまいります。

「ワールドマスタースゲームズ2027関西」の開催まで、残り10か月となりました。本年 3 月から各競技種目の一般エントリーの受付が始まり、6 月末までに国内外から約 4 万人の方々にエントリーをいただいています。

この間、ワールドマスタースゲームズ2021関西組織委員会においては、「大会1年前キャンペーン」をはじめ、様々なPR活動を実施し、大会参加府県市においても、地域イベントの機会等を活用したプロモーションに取り組んでいます。関西広域連合としても、組織委員会等と連携し、引き続き機運醸成や情報発信に積極的に取り組んでまいります。

それでは、提案理由の説明に先立ち、2月定例会以降の主な取組についてご報告します。

（大阪・関西万博のレガシー継承）

第1は、大阪・関西万博のレガシー継承です。

多くの方々の支えにより成功裏に幕を閉じた「大阪・関西万博」は、有形無形の多岐にわたる成果を残しました。

この成果を一過性のものとせず「レガシー」として後世に引き継ぎ、関西の持続的な成長につなげるため、昨年度末、経済界、国、関西広域連合、大阪府及び大阪市が一体となった「未来創造会議」が立ち上がりました。

関西広域連合から、私が委員として会議に参画し、会議が目指す「万博で披露された最先端技術等の実装化・産業化」「国際イベント・交流等の継承・発展」及び「レガシーの発信、広域観光促進」の取組が関西一体で推進されるよう積極的に関与してまいります。

（広域防災の推進）

第2は、広域防災の推進です。

関西広域連合では、南海トラフ地震への備えを更に進めるべく、重点受援県となる和歌山県や徳島県への広域防災拠点による支援体制について検討し、昨年度、報告書を取りまとめました。

今年度は、この検討結果や国の防災基本計画の修正等を踏まえ、「関西防災・減災プラン（地震・津波災害対策編）」の改訂を行います。

また、開会中の国会で設置法案が審議されている防災庁について、地方機関の関西への誘致に向け、引き続き国への働きかけを進めていくとともに、府県市民に対する啓発活動を通じ、一層の機運醸成を図ってまいります。

（広域スポーツの振興）

第3は、広域スポーツの振興です。

第2期関西広域スポーツ振興ビジョンの計画期間満了に伴い、令和9年

度から13年度を期間とする第3期ビジョンを策定します。「ワールドマスタースゲームズ2027関西」のレガシー創出など、スポーツを取り巻く情勢を踏まえた、新たなビジョンの検討を進めてまいります。

また、「関西マスタースゲームズ」を今年度も実施し、「ワールドマスタースゲームズ2027関西」の開催に向けて、大会前年度における一層の機運醸成を図ります。

（広域産業の振興）

第4は、広域産業の振興です。

公民連携の取組として、本年2月に、域内企業等の効果的な情報発信の支援に係る協定を、国内最大級のプレスリリース配信サービス事業者と締結しました。今後、協定に基づき、域内企業等の認知度向上や取引拡大等に繋げてまいります。

また、6月17日から20日にかけて、フランスのパリにて開催された世界トップクラスのテック系スタートアップイベント

“Viva Technology 2026”に、関西広域連合として参加しました。広域産業振興局より、関西への投資の促進に向けたポテンシャルの発信、並びに10月に開催される“Global Startup EXPO 2026”など、関西で開催されるスタートアップ関連イベントのプロモーションを行うとともに、域内スタートアップ企業4社の出展支援や、ビジネス機会の創出に取り組みました。

その際、イル・ド・フランス州の副議長と広域産業振興局が面談し、産業振興分野に関する今後の連携について意見交換を行いました。

（広域医療の確保）

第5は、広域医療の確保です。

関西広域連合管内においては、8機のドクターヘリにより、広域救急医療体制を確保してまいりましたが、昨年度は運航委託先における整備士不足による一時的な運航停止が断続的に発生いたしました。今年度は、「大阪府ドクターヘリ」「徳島県ドクターヘリ」において、通年運航可能な運航委託先の確保に至らず、「3府県ドクターヘリ」「兵庫県ドクターヘリ」においても整備士不足により、新たに運航停止期間が生じるなど、厳しい状況に直面しておりまして、当該委託先事業者に対して安定的な運航体制を早急に確保するよう強く求めるとともに、近隣ヘリの応援体制等により、広域救急医療体制の確保を図っているところでございます。

全国の航空運送事業者と粘り強く調整・交渉を続けてきた結果、「徳島

県ドクターヘリ」については、数社の協力により、合計約6か月間の運航が可能となりました。

去る5月27日には、後藤田広域医療担当委員と私から上野厚生労働大臣に対し、「国主導による安定的かつ効率的な運航体制の再構築」などを求める緊急要請を行ったところであり、厚生労働省においても、安定的で持続可能な運航体制の確保に向けた「ドクターヘリによる救急医療のあり方を議論する検討会」の立ち上げを発表されたところです。

引き続き、ドクターヘリの安定的な運航体制の確保に全力で取り組んでまいります。

（広域環境保全の推進）

第6は、広域環境保全の推進です。

本年3月に、地域環境・地球環境問題に対応し、環境・経済・社会の統合的向上により、ウェルビーイングを実感できる持続可能な関西の実現を目指すため、第5期の「関西広域環境保全計画」を策定しました。

本計画に基づき、「脱炭素社会づくり」「自然共生社会づくり」「循環型社会づくり」「持続可能な社会を担う人育て」の4つの分野について、様々な取組を推進してまいります。この一環で、今年度も省エネ等と呼びかける「関西脱炭素アクション」を実施しており、引き続きオール関西で脱炭素社会の実現に取り組めます。

（広域自治の推進）

第7は、広域自治の推進です。

関西広域連合の今後のあるべき姿や担うべき役割等について検討し、地方分権や自治力の強化につなげるため、4月24日に3回目となる「新たな広域自治・行政のあり方研究会」を開催しました。私を含めた広域連合委員やアドバイザーが出席し、積極的な意見交換を行いました。

第4回会議以降、関西広域連合の取り組むべき分野・事務、広域自治のあり方などについて、議論を更に深めてまいります。

また、広域リージョン連携について、3月13日に、6分野のプロジェクトを記載した「関西広域リージョン連携ビジョン」を全国に先駆けて公表しました。今後は、このビジョンに基づき、着実に取組を進めてまいります。

（広域的な流域対策）

第8は、広域的な流域対策です。

大阪・関西万博で形成された人のつながりを活かして、3月14日に「いのち育む“水”のつながりシンポジウム」を開催し、上流・中流・下流で活動する学生・団体等にご参加いただき、ブース展示等を通じて交流を深めていただきました。引き続き、琵琶湖・淀川流域はもとより、他の流域も含めて、「水のつながり」についての更なる理解促進と連携の強化を目指してまいります。

（広域連携による行財政改革の推進）

第9は、広域連携による行財政改革の推進です。

構成府県市の限られた行財政資源を最大限活用して住民サービスの向上が図られるよう簡素で効率的な運営を基本原則とし、「広域での処理が効率的かつ効果的となる新たな事務の検討」及び「既存の事務、事業の見直し」を通じ、広域での行財政改革を推進してまいります。

「広域での処理が効率的かつ効果的となる新たな事務の検討」では、「土木技術職員及び建築技術職員に係る人材の確保」などの4項目について、具体的に検討を進めているところです。

また、「既存の事務、事業の見直し」として、事務、事業の合理化や廃止を含めた見直し等を通じて、スクラップ・アンド・ビルドを積極的に推進してまいります。

（提出議案の説明）

これより、提出した議案について説明します。

第10号議案「監査委員の選任について同意を求める件」です。現在、広域連合議会選出の監査委員1名が辞職により、欠員となっていることから、監査委員の選任について同意を求めるものです。

（おわりに）

以上で提出議案の説明といたします。議員の皆様におかれましては、よろしくご審議をお願いします。